

①要約:

このアイデアは、VR を活用したカンファレンス向けのシステムであり、参加者がアバターとして会議に参加し、質疑応答のタイミングをスムーズ化することを目的としています。

②目的:

このアイデアの主な目的は、オンラインでのカンファレンスの質疑応答の際に起こりやすいタイミングの問題を解消し、参加者が手を挙げて質問するタイミングを明確化することです。これにより、参加者の質問を効率的に処理し、スムーズな議論が行えるようになります。

③新規性:

このアイデアは、VR を使用してカンファレンス参加者がアバターとして会議に参加し、質問の順番待ちや質問者のプロフィール表示など、リアルなカンファレンスに近い体験を提供する点で新しいものです。

④独自性:

このシステムは、従来のオンライン会議とは異なり、参加者がアバターを通じて会議の場に参加することができるため、よりリアルなコミュニケーションが可能です。また、質問者の順番待ちやプロフィールの表示など、質疑応答の効率化に特化した機能が付いている点も独自性を持っています。

⑤経済価値:

このアイデアによって、オンラインカンファレンスの質疑応答プロセスが効率化され、参加者の意見交換や議論の質を向上させることができます。また、従来のオフラインカンファレンスに比べて参加者の交通費や宿泊費などの負担が軽減されるため、経済的なメリットもあります。さらに、このシステムが普及すれば、VR 技術の需要が高まる可能性があるため、経済的な成果を生むことも期待されます。